

株式会社アライヘルメット TEL 048-3825-7130



SNCシグネットRR、  
並びにSNCシグネットに関するお知らせ

ヘルメットの規格は、試験装置の明細等にある程度は解釈の幅を残すものでもあります。そこで、スネル財団による多少の差異は生じるものであります。そして、スネルラベルの貼付はスネル財団が承認する製品だけに許され、財団の意に反して貼付けたメーカーは責任をとらる、それが取決めです。

アライでも、スネル財団が承認する製品にスネルラベルを貼付するのは当然ですが、それだけではありません。さらに厳しい独自の基準をアライ規格として設けて、これを満たす製品だけにスネルラベルを貼付することを、長年にわたり、アライの伝統としてきました。

SNCシグネットRR、並びにSNCシグネットも当然、アライ規格の製品として設計され、2000年4月にはスネル財団による認を受けました。但し、世界各国のメーカー事情に配

2000年9月以前に出荷した製品は全て1995規格の表示にさせていただきました。だが、おこりというものは恐ろしいものです。SNCは絶対と思う慢心からの緩みが、確認の不足につながり、問題を生じました。2000年9月以前に生産されたSNCシグネットR、並びにSNCシグネットRに関する、アライのスネル規格品なら当然である基準を、満足しないものが見つかりました。

10月から2000年規格を表示するにあたり、アストロ、ラバイト、SZ、MX等のスネル2000の承認済モデルに合わせて、一連の確認試験を2000年9月から10月にかけて行つたところ、SNCシグネットR、並びにSNCシグネットの一部は、他の2000年規格モデルに比べて明らかに性能の劣ることが判明しました。アライの内規に照らすなら、スネル2000規格にも問題を生じました。

そこで、スネル財团にてを報告し、再度の確認をお願いしました。その結果、問題の製品と同一のロットから抜き取られた6個についていたいたいた、11月9日付けの通達は、下記の通りです。

最初に試験した1個では、高温処理の半球形アーチビルによる前頭部の1箇所で、問題点が見受けられました。因つて、規定の定めるところによる追加試験で、同箇所についても複数、試験したが、問題は無かつたことから、当該機種に関しては、2000規格による認を継続することに問題なしとする。

このように、SNCシグネットRR、並びにSNCシグネットは全て、スネル財團による正規の承認を受けている製品であり、支離なくご使用いただけるものです。

しかし、それがアライとして胸を張るものであつか、どうかとなると、話別です。「アライの最高峰」と大みえを切つた製品がアライのスネル規格品と

て不適格であつたことを確認したのです。それを知で、「承認には間違いないから」と、逃げ隠れをぬることになる。自分がつくるものに胸を張れなくなつたら、アライがアラでなくなります。

厳正に対応するのをは固めます。当該ロットの製品をお持ちの方に対して、準備が整い次第、アイン規格を満たす製品との交換を申し出る予定です。通からの回収も、進めています。そのため、SNCシグネットRR、並びにN Cシグネットは、現店頭にありません。大変迷惑をお掛けしております。

だが、強さへの妥協なしに軽さを追求したSNCシグネットRR、並びにSNCシグネットは、熟練の作業者の手で作られる生数の限られた製品です。しかも、アライ規格の間違はない製品であることを、つ一つ確認しながら生産されることが要求されます。され故、その準備には、暫

月の期間を要します。対象となるSNCシグネットR、並びにSNCシグネットトをお持ちの方、そして、店頭での販売再開に関しては、もう少しの間猶予をいただかなければなりません。誠に申し訳ありません。繰り返し申し上げます。

前述の問題ある製品も、JIS規格を凌駕するのは無論、正式にスネル財團の承認を受けた製品です。問題は、アライが誇る製品として相応しいか否かと、メーカーとしてのモラルです。

なお、交換の開始ですが、雑誌等を利用してのご案内は4月頃を予定しています。店頭での販売再開は、それ以降となるでしょう。

いずれにせよ、SNCシグネットR、並びにSNCシグネットにつきましては、しばらくの間、混乱を伴いますこと、伏してお詫び申します。だが、安全に対する協力を許さぬ姿勢は、今後とも貫く所存であります。

そんなアライに対するご理解の程、心よりお願ひ申しあげます。

本件に関するより詳しい内容は、弊社直通TEL-048-641-3900までどうぞ。

勝手ながらお電話による問い合わせは、祝日を除く月曜日から金曜日の9:00～19:00に限らさせていただきます。